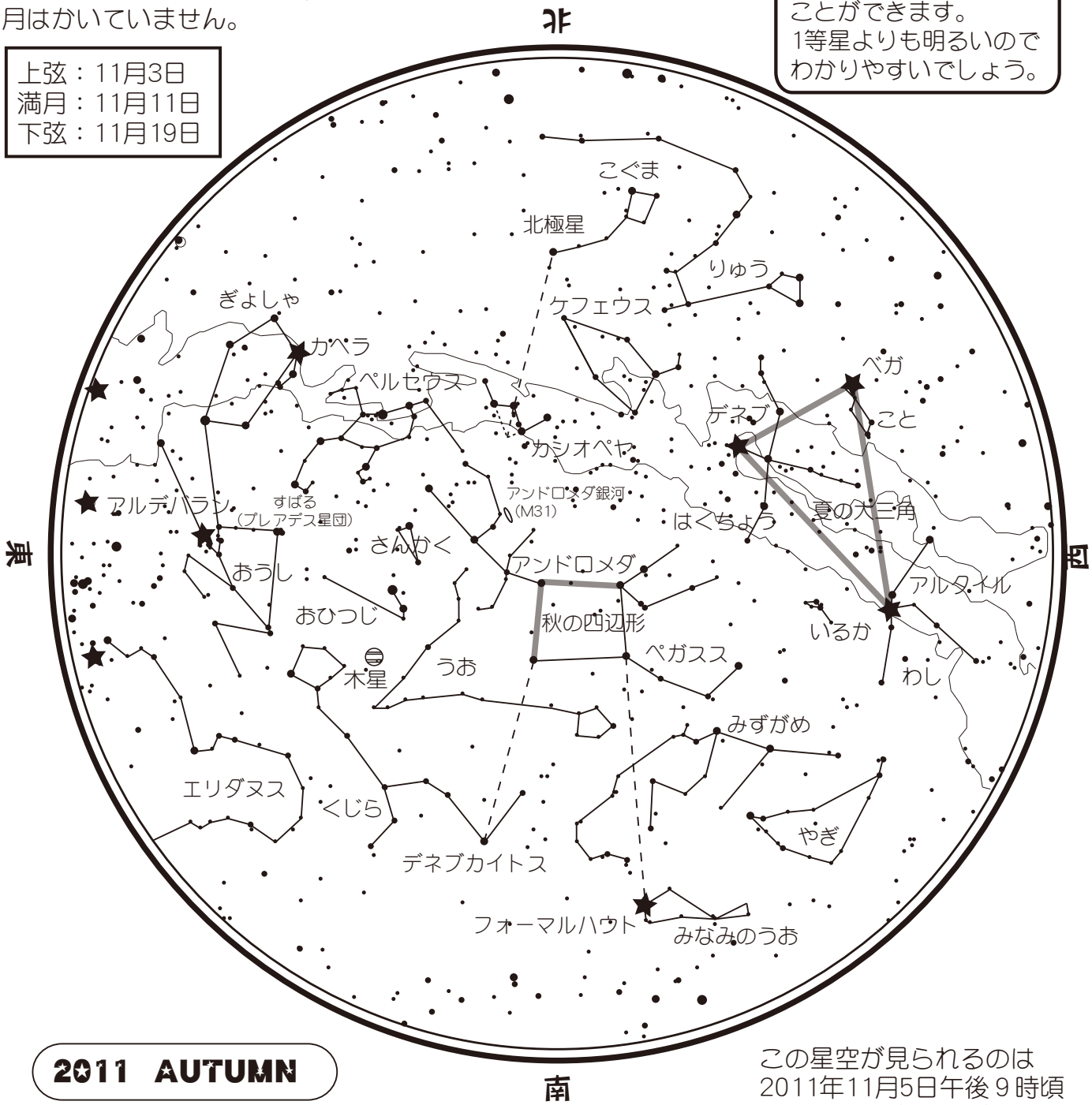
★姫路で見る11月前半の星空★

姫路科学館
Himeji City Science Museum

図の中心が頭の真上(天頂)、まわりの円が地平線です。
この星図を見るときには見ている方向の方位を下にして下さい。
★は一等星を表しています。
月はかいていません。

上弦：11月3日
満月：11月11日
下弦：11月19日

☆木星を見よう☆
夜の7～9時ごろ東の空に見え、ほぼ一晩中見ることができます。
1等星よりも明るいのでわかりやすいでしょう。



2011 AUTUMN

この星空が見られるのは
2011年11月5日午後９時頃
11月20日午後８時頃です。

秋の星空は、明るい一等星が少なく物静かな印象を受けますが、魅力的な星座がたくさんあります。まずは天頂で輝く「秋の四辺形」を見つけて、そこから探してみるのがオススメです。

秋の四辺形の西側の辺を南の空にのばすと、秋の星空でたったひとつの一等星フォーマルハウトが見つかります。今度は東側の辺をのばすと、くじら座の二等星デネブカイトスが見つかります。南の空ではこの２つの星を目じるしに、みずがめ座やうお座など、誕生日の星座を探してみましょう。

ペガスス座のおへそにあたる星から北東の空へと並ぶ明るい星を結ぶと、アンドロメダ座が見つかります。アンドロメダ姫の足下には、明るい星が集まってできたペルセウス座が輝きます。そばにはW字形のカシオペア座と、とがった五角形のケフェウス座が見えます。カシオペア座は秋から冬にかけて北の空でとても目立つので、北極星を探す目じるしになります。

東の空にはぎょしゃ座のカペラやおうし座のアルデバラン、すばるなど冬の星たちも見え始めます。晴れた日は秋から冬と星座めぐりを楽しんでみてくださいね。その際は防寒対策をお忘れなく！